

《2025対県確定闘争》 兵庫の学校現場の実情・想いに寄り添った 回答を引き出し、妥結！



兵教組は、2025対県確定闘争において、人事委員会勧告・報告をふまえ、10月28日に県教育長に対して「2025年度教職員賃金等に関する申し入れ」を提出し、その要求実現をめざして、県教委との交渉・折衝を積み重ねてきた。この間、11月11、13、14、17日に地区代表による県内9

か所一斉県民局・県民センター申し入れ、17日に第2波統一決起集会を開催し、意思統一をはかっていた。県職労、兵高教との共闘を強化しながら、11月25日を「最終局面」と設定し、具体的回答を要求した。さらに、給与確定交渉とは別に、兵教組独自に専門部や、兵教組執行部・地域

組合代表による対県要請行動を積み上げ、学校現場の実情や要求を訴えてきた。各分会・地域組合においては、時間外職場集会・要求実現集会を開催し、意思統一をはかっていた。現場実態や教職員の思いをこめた県教育長宛「賃金・労働条件の改善に関する要求書」を、第2回給与確定交渉および17日の要請行動、最終局面に至る段階まで10、642枚(99.99%)集約し、県教委に手渡した。

県教委は第2回交渉において、①勧告どおり給料表を改定、②期末・勤勉手当について勧告どおり引き上げ、③自動車等使用者に対して距離区分で支給している通勤手当について国に準じた改定(区分によって支給額が減少する場合が生じる)、④駐車場等の利用に対する通勤手当については改定は実施しない、⑤地域手当については今期の改定は実施しない等と回答した。さらに、⑥教職調整額の引き上げ、⑦義務教育等教員特別手当について一律に算出される手当の3分の1を縮減する、⑧多学年学級担当手当の廃止(26年1月1日)、⑨給料の調整額の見直し、⑩病気休暇等の

見直しについて回答した。この回答を受け、兵教組は、各学校現場において、チーム学校として懸命にとりくんでいるすべての教職員に対して、この間の労苦に報い、士気確保につながる成果をもとめた。

第3回交渉において、自動車等使用者に対して距離区分で支給している通勤手当について、①4km刻みの距離区分を維持する、②66、400円を上限として各区分で国に準じた引き上げ改定をおこなう等と、これにより支給額が引き下げられる教職員が生じないこととなると回答した。その一方で、駐車場等の利用に対する通勤手当については、改定は実施しないとの従来の考えを再度示した。

また、学級担任への加算について「学級担任に3,000円を加算して支給する」とした。多学年学級担当手当については、組合の要請に対応し「26年4月1日の廃止とする」とした。病気休暇の見直しについては、「27年4月から新制度を適用する」とした提案についてはいったん撤回し、来年度、改めて協議とした。これらに対し兵教組は、

――主な県教委回答――

- ◆月例給の給料表を平均3.3%の増額改定(中堅層以上の職員には昨年を大幅に上回る引き上げ改定)
- ◆一時金は年間で期末・勤勉手当0.05月分引き上げ
- ◆自動車等使用者に対する距離区分で支給されている通勤手当を引き上げ改定
- ◆パークアンドライドの1/2上限撤廃、上限額引き上げ
- ◆学校内外の駐車場代を支給
- ◆主務教諭の設置については来年度改めて協議
- ◆学級担任への加算2,000円、担任以外1,000円加算
- ◆教育職の「病気休暇」の見直しを撤回し、来年度改めて協議

「駐車場の利用に対する個人負担が生じている地域とそうでない地域、担任する者とならない者といった分断を生まない対応を」と、再度の検討をもとめた。

第4回交渉において、県教委は兵教組の要請について「皆さまの強い思いがあるものとして重く受け止めている」と述べ、①駐車場等の利用に対する通勤手当について引き上げ改定をおこなう、②駐車場等の料金も支給対象とする(学校の敷地内も支給対象とする)、③学級担任への加算(学級担任に2,000円、担任以外に1,000円加算)、④臨時的任用教員の処遇改善(2級適用要件のうち、学歴要件を緩和)、⑤働き方改革にむけた全県推進会議の設置について回答した。

教育長は「お示した内容については、限られた選択肢の中で私どもが取り得る精一杯の内容である。何卒ご検討をよろしくお願いしたい」と述べた。

兵教組は第3回戦術会議において、満額回答に至らないものの、今回の県教委回答を今期対県賃金確定の到達点と受け止め、11月25日21時30分、県教委提案を

「駐車場の利用に対する個人負担が生じている地域とそうでない地域、担任する者とならない者といった分断を生まない対応を」と、再度の検討をもとめた。

第4回交渉において、県教委は兵教組の要請について「皆さまの強い思いがあるものとして重く受け止めている」と述べ、①駐車場等の利用に対する通勤手当について引き上げ改定をおこなう、②駐車場等の料金も支給対象とする(学校の敷地内も支給対象とする)、③学級担任への加算(学級担任に2,000円、担任以外に1,000円加算)、④臨時的任用教員の処遇改善(2級適用要件のうち、学歴要件を緩和)、⑤働き方改革にむけた全県推進会議の設置について回答した。

教育長は「お示した内容については、限られた選択肢の中で私どもが取り得る精一杯の内容である。何卒ご検討をよろしくお願いしたい」と述べた。

兵教組は第3回戦術会議において、満額回答に至らないものの、今回の県教委回答を今期対県賃金確定の到達点と受け止め、11月25日21時30分、県教委提案を

「駐車場の利用に対する個人負担が生じている地域とそうでない地域、担任する者とならない者といった分断を生まない対応を」と、再度の検討をもとめた。

第4回交渉において、県教委は兵教組の要請について「皆さまの強い思いがあるものとして重く受け止めている」と述べ、①駐車場等の利用に対する通勤手当について引き上げ改定をおこなう、②駐車場等の料金も支給対象とする(学校の敷地内も支給対象とする)、③学級担任への加算(学級担任に2,000円、担任以外に1,000円加算)、④臨時的任用教員の処遇改善(2級適用要件のうち、学歴要件を緩和)、⑤働き方改革にむけた全県推進会議の設置について回答した。

教育長は「お示した内容については、限られた選択肢の中で私どもが取り得る精一杯の内容である。何卒ご検討をよろしくお願いしたい」と述べた。

兵教組は第3回戦術会議において、満額回答に至らないものの、今回の県教委回答を今期対県賃金確定の到達点と受け止め、11月25日21時30分、県教委提案を

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 森戸卓也
編集人 松浦明日香
電話 050(3538)2346
1部15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2025/12・15
No.2130

・第75次兵庫県教育研究集会分科会

兵教組LINEアカウント

速報等、最新情報発信中！



『冬景色』より
香住町立香住第一中学校 1年 高橋 一暢

『ごとの詩と絵 第45集』より
受け入れ、満場一致で妥結した。
※詳細は教育ひょうご速報 No.7・8 参照

『冬景色』より

香住町立香住第一中学校 1年 高橋 一暢

期間限定 特別利率のご案内

厚生会預金「定期預金5年」

通常利率：0.60% → **0.70%**
(税引後利率 0.557%)

期間：12月1日(月)～2026年3月31日(火)

上記の期間中に「新規振込み」や厚生会預金の他の種別からの「預け替え」が対象です。

詳しくはこちら▼

この機会にぜひご利用ください

増額・振込キャンペーン ～抽選プレゼント企画～

期間中に積立預金の増額・新規申込みまたは厚生会預金へ新規振込みで
♡「ほっとひと息スイーツセット」をプレゼント！

期間：12月1日(月)～2026年1月30日(金)

1 増額キャンペーン \50名に!/
積立預金・すまいる積立預金(貯蓄年金型除く)に
3,000円以上の増額もしくは新規申込みで

2 振込キャンペーン \150名に!/
積立預金・定期預金(1年・2年・3年・5年)いずれかに
10万円以上の新規振込みで

詳しくはこちら▼

問合せ先 (一財)兵庫県学校厚生会 信用共済課 預金係 Tel(078)331-9974

第75次兵庫県教育研究集会 分科会のように

分科会の様子を、アンケートから抜粋してお伝えします。

【参加者感想】

・教育に携わる者にとって根幹となる部分を学ぶことができた。

・現在自分自身が悩みながらとっている個別最適化、自由進度学習についての実践報告を聞かせていただけたことで、やろうとしていることに自信がもてたと同時に、改善していただきたい点も具体的にみつかることができた。

3 社会科教育

子どもたちが主体的に活動し、思考を深める授業の創造等。

【参加者感想】

・授業づくりで大切な視点やアイデア、地域教材を扱うよさが大変勉強になった。刺激を受けた。

1 日本語教育

「話す・聞く・伝える合う力」の指導について等。

【参加者感想】

・学校全体で課題にとりくんでいる学校や、教職員個々の工夫がゆたかであることに驚いた。

・3つの柱で、多くの実践を知ることができた。教職員が実践してみても子どもの成長につながったもの、また課題について教えてもらい大変参考になった。自分の学級や学校で実践していきたい。

4 算数・数学教育

主体的・対話的で深い学びの実現にむけた授業づくり等。

【参加者感想】

・様々な算数教育の研究事例を知ることができた。特にめあてやまとめにむかう子どもの姿勢の実践例に関しては、数学教育に限らず多様な授業に応用できると思う。

・組合員で集まって自主教研しているリポートがあったとても驚いた。自分が普段なんとなく授業していたことに気づき、もう少し意図や意味を考えようと振り返るいい機会になった。

2 外国語教育

外国語を通しての平和・人権・多文化共生を追求する実践のあり方等。



5 理科教育

子どもが主体的な探究に動き出し、科学的思考力を深める授業づくり等。

【参加者感想】

・教材発掘やその扱いについて様々な議論があり、大変勉強になった。また、理科そのものに対する考え方についても協議があり、改めて考えるよい機会になった。

・様々な実践について、聞くことができてよかった。子どもが考えられる授業をつくらせていきたいと思った。たくさん話を聞いたので、次に生かしていきたい。

6 美術教育

子どもたちが思いを表現できる学習をどうつくるか等。

【参加者感想】

・リポート内容が、いろいろあって勉強になった。図工をメインで研究しているわけではないので、専門的な話や発想の転換的なことがわかった。日常の指導に生かしていきたい。

・造形遊びや地域教材を取り入れた実践を授業に生かしていきたい。

7 音楽教育

基礎・基本をふまえ、「わかった、できた」と実感できる楽しい授業のための創意工夫等。

【参加者感想】

・どのリポートも、しっかり授業の実践がまとめられていて、学びを深めることができたので良かった。活発な討議ができたと思う。・普段は同じ教科の人と話ができないので、とても勉強になった。同じ話題や悩みを共有できてよかった。

8 技術・家庭科教育

持続可能な社会の実現にむけて工夫・創造する能力の育成等。



【参加者感想】

・他の方の授業実践を聞くことができて、自分の教育実践を見直す機会となった。

9 保健・体育

効果的な保健教育のすすめ方、自分の身体や体力に気づく手立て等。

【参加者感想】

・各校の課題やとりくみが開けて大変よかった。また来年も参加したいと思える会だった。

【参加者感想】

・様々な地区の方の話を聞くことができて、学びが多くあった。体育の時間のあり方も地区によって異なり、自分が実践するならということを考えて聞いた。

10 総合学習

地域から自己を見つめ、学び続ける総合学習の「魅力」等。

【参加者感想】

・総合の枠を超えて、教職員の役割とは子どもに学ぶきっかけを与えることであるということも含め、深い話が多く、今後の実践に生かしたいと思える会だった。

【参加者感想】

・本年度は中学校のリポートが多く、中学校の方の発言も例年より多く聞くことができてよかった。地域リポーターの報告から、学校と地域、様々な立場、視点から子どもと総合について考えることができてよかった。

【参加者感想】

・自治の力をどう高めていくか（子どもの参画による民主的な学校づくりと「子どもの権利条約」等）

【参加者感想】

・各地域組合の報告を聞き、大変参考になった。地域ごとに違いがあり、対話することで自分の地域でできるかどうかを考えることができた。分会に帰り、とりくみを広めたいと思う。

【参加者感想】

・共同研究者の「自治的諸活動も生活指導もまず授業から」という言葉が印象に残った。

12 幼年期の教育・保育と連携・接続

子どもの育ちや学びがつながる連携・接続について等。

【参加者感想】

・規模も地域性も異なる園や学校のとりくみを聞くことができた。改めて幼小連携の大事さや学校全体で共有することを学んだ。

【参加者感想】

・地域によって様々な違いがある中、地域に根差したとりくみの実践を聞くことができ、学ぶことがたくさんあった。

13 人権教育

差別の現実と教職員の変わりめ等。

【参加者感想】

・様々な学校のとりくみを聞かせていただき、討論では活発な意見が飛び交い大変勉強になった。本校は同和教育を中心に人権教育を系統立ててしているが、一言に人権教育と言っても、いろいろな視点での意見が聞けて、自身の人権意識の向上にもなった。

14 インクルーシブ教育

「真のインクルーシブ教育」につながる教育内容と実践の創造等。

【参加者感想】

・様々な取り組みや授業実践から学びが深まった。人は多様であることを理解し、自分事として捉えることをベースに実践を重ねたい。また、言葉にもこだわりの丁寧な日々の言動に繋いでいきたいと思った。

【参加者感想】

・男女、性的マイノリティ、当事者など、なんの意識もなく使っていた言葉が人を傷つける言葉だということに驚き、これから意識を改めたいと感じた。

17 環境・公害・食教育

身近な環境を見つめ、SDGsと関連づけた持続可能な社会の創造にむけて、系統的なカリキュラムの作成や指導の工夫にどのようにとりくんでいくか等。

【参加者感想】

・各地域の特色あるとりくみを聞かせていただき、学びが多い時間となった。今年度は中学校や高校まで幅広いとりくみを聞かせていただき兵庫県の食育の広がりを感じた。

【参加者感想】

・普段子どもに接する中で、こんな対応がよいかな？とか、コレはどうかな？と感じていたものが、分科会での発言等を聞き、考えることで明確化できたのでよかった。

【参加者感想】

・とても学びがあり、有意義な時間となった。「日本をどうすすめるか等。描かれており、学校だけでは育てきれない学びの広がりを感じた。

18 平和教育

地域に学ぶ・地域と学ぶ平和学習等。

【参加者感想】

・各分会のとりくみはもちろん、熱い思いや深い考え、悩みながらも日々研究や実践をしている姿勢など本当に勉強になることばかりだった。そして、平和教育は総合を中心としながらも各教科の中にも落とし込みながら教科横断的にすすめていくべきだと強く思った。また、低学年のうちから学年の発達段階にあわせて、できることを少しずつ積み上げていく必要性も強く感じた。

【参加者感想】

・他地域の進路に関わるとりくみだけでなく、子どもにとってよりよい進路、入試、評価になるための苦悩や悩みも聞くことができなかった。

【参加者感想】

・多様なテーマがあり、幅広い視点で意見交流することができた。様々な地域の新しいとりくみを知ることができ、取り入れてみたいと思うものもあった。有意義な学びとなった。

【参加者感想】

・各校様々なとりくみがある中、どのとりくみでも共通して、教職員間の意識の共有が大切だと感じた。どのような目的をもってとりくむのか、しっかりとこちら側が軸にもつておくことが、成功への鍵だということを感じた。とても学びの深まった一日になった。

【参加者感想】

・各教科の特色を生かした実践報告を聞いて新たな気づきを得たり、考えさせられたりする有意義な会だった。特に防災教育のとりくみについて、今日の報告を参考にマンネリ化を解消していきたい。他の地域の方と交流することで、あらゆる視点から指導方法などを考えることができる貴重な会だと思った。

【参加者感想】

・子どもを命を全力で守り輝かせていこうという情熱が伝わってくるリポートと討議で、感動した。

【参加者感想】

・学校・地域の連携を問いただす等。

【参加者感想】

・学校だけでなく、地域の

【参加者感想】

・対話の大切さ、議論することの大切さ、あたりまえと思わず、変えていくことの大切さ、子どもとむきあう大切さを改めて実感し、気づきの多い、学びの一日となった。

【参加者感想】

・他地域の進路に関わるとりくみだけでなく、子どもにとってよりよい進路、入試、評価になるための苦悩や悩みも聞くことができなかった。

【参加者感想】

・多様なテーマがあり、幅広い視点で意見交流することができた。様々な地域の新しいとりくみを知ることができ、取り入れてみたいと思うものもあった。有意義な学びとなった。

【参加者感想】

・各校様々なとりくみがある中、どのとりくみでも共通して、教職員間の意識の共有が大切だと感じた。どのような目的をもってとりくむのか、しっかりとこちら側が軸にもつておくことが、成功への鍵だということを感じた。とても学びの深まった一日になった。

【参加者感想】

・各教科の特色を生かした実践報告を聞いて新たな気づきを得たり、考えさせられたりする有意義な会だった。特に防災教育のとりくみについて、今日の報告を参考にマンネリ化を解消していきたい。他の地域の方と交流することで、あらゆる視点から指導方法などを考えることができる貴重な会だと思った。

【参加者感想】

・子どもを命を全力で守り輝かせていこうという情熱が伝わってくるリポートと討議で、感動した。

【参加者感想】

・学校・地域の連携を問いただす等。

【参加者感想】

・対話の大切さ、議論することの大切さ、あたりまえと思わず、変えていくことの大切さ、子どもとむきあう大切さを改めて実感し、気づきの多い、学びの一日となった。

【参加者感想】

・他地域の進路に関わるとりくみだけでなく、子どもにとってよりよい進路、入試、評価になるための苦悩や悩みも聞くことができなかった。

【参加者感想】

・多様なテーマがあり、幅広い視点で意見交流することができた。様々な地域の新しいとりくみを知ることができ、取り入れてみたいと思うものもあった。有意義な学びとなった。

【参加者感想】

・各校様々なとりくみがある中、どのとりくみでも共通して、教職員間の意識の共有が大切だと感じた。どのような目的をもってとりくむのか、しっかりとこちら側が軸にもつておくことが、成功への鍵だということを感じた。とても学びの深まった一日になった。

【参加者感想】

・各教科の特色を生かした実践報告を聞いて新たな気づきを得たり、考えさせられたりする有意義な会だった。特に防災教育のとりくみについて、今日の報告を参考にマンネリ化を解消していきたい。他の地域の方と交流することで、あらゆる視点から指導方法などを考えることができる貴重な会だと思った。

【参加者感想】

・子どもを命を全力で守り輝かせていこうという情熱が伝わってくるリポートと討議で、感動した。

【参加者感想】

・学校・地域の連携を問いただす等。

【参加者感想】

・対話の大切さ、議論することの大切さ、あたりまえと思わず、変えていくことの大切さ、子どもとむきあう大切さを改めて実感し、気づきの多い、学びの一日となった。

【参加者感想】

・他地域の進路に関わるとりくみだけでなく、子どもにとってよりよい進路、入試、評価になるための苦悩や悩みも聞くことができなかった。

【参加者感想】

・多様なテーマがあり、幅広い視点で意見交流することができた。様々な地域の新しいとりくみを知ることができ、取り入れてみたいと思うものもあった。有意義な学びとなった。

【参加者感想】

・各校様々なとりくみがある中、どのとりくみでも共通して、教職員間の意識の共有が大切だと感じた。どのような目的をもってとりくむのか、しっかりとこちら側が軸にもつておくことが、成功への鍵だということを感じた。とても学びの深まった一日になった。

【参加者感想】

・各教科の特色を生かした実践報告を聞いて新たな気づきを得たり、考えさせられたりする有意義な会だった。特に防災教育のとりくみについて、今日の報告を参考にマンネリ化を解消していきたい。他の地域の方と交流することで、あらゆる視点から指導方法などを考えることができる貴重な会だと思った。

【参加者感想】

・子どもを命を全力で守り輝かせていこうという情熱が伝わってくるリポートと討議で、感動した。

【参加者感想】

・学校・地域の連携を問いただす等。

